

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公表番号】特表2014-516273(P2014-516273A)

【公表日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-037

【出願番号】特願2014-501243(P2014-501243)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液で満たされた眼内レンズを、送達または貯蔵装置内に装填する方法であって、
光学部および周辺部を備える、液で満たされた眼内レンズを提供するステップと、
装填器具を用いて、前記周辺部の第 2 の部分よりも可撓性の低い前記周辺部の第 1 の部分に対して、装填力を加えるステップであって、前記装填する方法が前記周辺部の前記第 2 の部分に装填力を加えることがない、ステップと、
前記眼内レンズを、前記装填器具を用いて送達または貯蔵装置内に装填するステップと、
を含む方法。

【請求項 2】

前記装填力を加えるステップが、前記周辺部の前記第 1 の部分に対して、略遠位方向の力を加えるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

装填する前記ステップが、前記眼内レンズの少なくとも一部を変形させるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記周辺部が、前記光学部と流体連通しており、また前記周辺部の前記第 1 の部分が前記光学部に結合され、前記周辺部の前記第 2 の部分が前記第 1 の部分から延びる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

液で満たされた眼内レンズを送達または貯蔵装置内に装填する方法であって、
光学部および第 1 のハプティックを備える液で満たされた眼内レンズを提供するステップであって、前記第 1 のハプティックが、前記光学部に結合された接続部、および前記接続部から延びる第 2 の部分を備える、ステップと、

前記第 1 のハプティックの前記第 2 の部分に装填力を加えることなく、装填器具を用いて前記第 1 のハプティックの前記接続部に対して装填力を加えるステップと、

前記眼内レンズを送達または貯蔵装置内に装填するステップと、
を含む方法。

【請求項 6】

前記液で満たされた眼内レンズを、装填装置のレンズ配置領域内に配置するステップをさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記装填力を加えるステップが、前記光学部および前記接続部に対して、略遠位方向の力を加えるステップを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 8】

前記装填するステップが、前記眼内レンズの少なくとも一部を変形させるステップを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 9】

液で満たされた眼内レンズを送達装置から展開する方法であって、

前記眼内レンズをカートリッジ内に装填するステップであって、該装填するステップが、前記眼内レンズのハブティックの、該ハブティックが前記眼内レンズの光学部に結合しているところに装填力を加えるステップを備える、ステップと、

前記カートリッジを通して液を送るだけで、前記眼内レンズを前記カートリッジの外へと前進させるステップと、を含む方法。

【請求項 10】

前記ハブティックが前記光学部に結合しているところは、前記眼内レンズの周辺部の第2の部分よりも可撓性が低い、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記眼内レンズを前記カートリッジ内に装填するステップは、ハブティック本体部分に装填力を加えることを備えない、請求項10に記載の方法。